

温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

丸栄株式会社 海田工場

(2) 事業所の所在地

広島県安芸郡海田町2番91号

(3) 業種

1063 有機質肥料製造業

(4) 事業所位置図

別紙のとおり

2 計画の期間

・基準年度：令和4(2022)年度・目標年度：令和12(2030)年度

本計画の期間は、令和4(2022)年度を基準年度とし、令和7年度から令和12年度までの4年間とする。

3 計画の基本的な方向

1 基本的な考え方

当社は、環境の保全を経営の重要課題と位置付け、環境に配慮した事業活動に努め、環境への負担低減を推進することにより、持続的な社会づくりに貢献します。

特に、今日の環境問題の中でも、とりわけ重要視されている地球温暖化防止については、自らの事業活動のみならず、当社の製品を使用する消費者のことも考慮し、温室効果ガスの排出抑制に努めていきます。

2 方針

- 省エネルギー、省資源の推進
- 環境に優しい製品の提供
- 廃棄物の抑制・リサイクルの推進
- 環境保全活動への積極的な参加
- 社員への環境教育の徹底

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）	
	基準年度	直近年度
	令和（ 4 ）年度	令和（ 6 ）年度
二酸化炭素	4,400	4,072

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）	
	基準年度	直近年度
	令和（ 4 ）年度	令和（ 6 ）年度
二酸化炭素	0	0

【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）	
	基準年度	直近年度
	令和（ 4 ）年度	令和（ 6 ）年度
メタン	0	0
一酸化二窒素	0	0
その他 温室効果 ガス （ HFC PFC SF ₆ NF ₃ ）	0	0

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量（t-CO₂）、削減率（%）

温室効果ガスの種類	基準年度	削減目標		目標年度
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)
エネルギー起源CO ₂	0	#DIV/0!	0	0
非エネルギー起源CO ₂	0	#DIV/0!	0	0
メタン	0	#DIV/0!	0	0
一酸化二窒素	0	#DIV/0!	0	0
その他 温室効果ガス	0	#DIV/0!	0	0
温室効果ガス 実排出量総計	0	#DIV/0!	0	0
温室効果ガス みなし排出量	0	—	0	0
目標設定の考え方				

※ 削減率(b) = (c) / (a) × 100 削減量(c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

製品重量 100t

単位：排出量(t-CO₂)、原単位置量(kg等)、削減率(%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (令和 4 (2022) 年度)			原単位 削減目標	目標年度 (令和 12 (2030) 年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO ₂	4,700	383	12.3	5.5	4,700	405	11.6
非エネルギー起源CO ₂				#VALUE!			
メタン				#VALUE!			
一酸化二窒素				#VALUE!			
その他 温室効果ガス				#VALUE!			
総排出量	4,700	383	12.3	5.5	4,700	405	11.6
エネルギー消費原単位 (原油換算kl)	—	—		0.0	—	—	
目標設定の考え方	総排出量は現状維持とし、製品トン数を増やすことで、原単位削減を目指す。						

※ 削減率(d) = { (c) - (g) } / (c) × 100 原単位(c) = (a) / (b) 原単位見込(g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置及び目標並びに具体的な取組

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項 目	数値目標	具体的な取組
1	燃料使用量の削減	都市ガス使用量 年3%削減 軽油使用量 年3%削減	・乾燥機に使用するバーナー設備の適正化 ・フォークリフトのエコ運転や倉庫の適正使用 ・船舶使用燃料の効率化
2	電気使用量の削減	電気使用量 年2%削減	・不要電気の消灯 ・冷暖房温度の適正管理 ・高性能インバーター設備の導入
3			
4			

※ 「原単位」で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること。

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種 類	合計量
1		
2		
3		

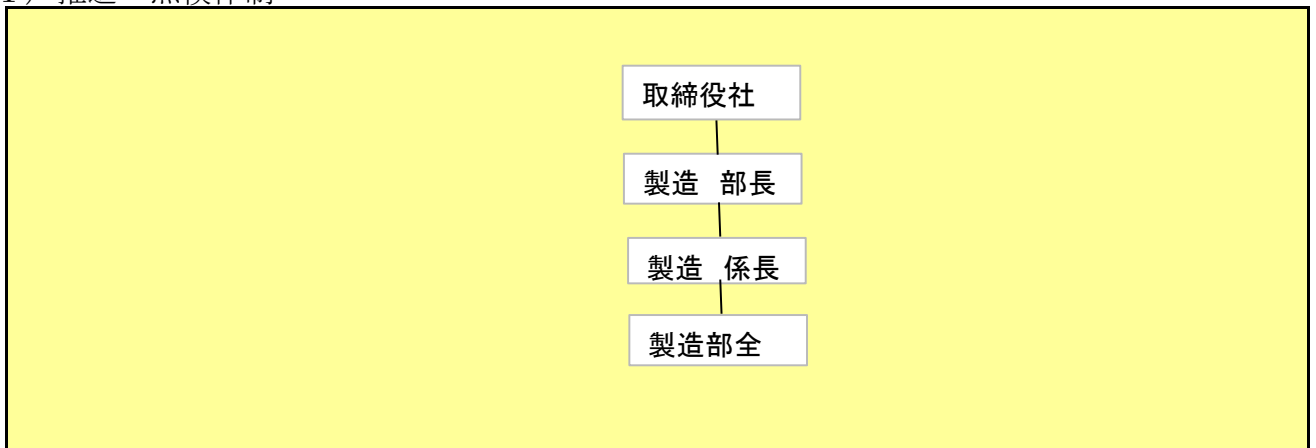
○ その他の取組

	項 目	数値目標	具体的な取組
1			
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記載してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法

(1) 推進・点検体制



(2) 実施状況の点検・評価

製造部部長を中心として、毎年温室効果ガス削減計画の取り組み状況の把握・点検及び問題点の検討を行い、社内会議等において定期的に評価・見直し等を行い、継続的な向上を図る。

(3) 計画書等の公表

・事業所に備え付けて閲覧する。